

鶯谷駅で「ホームドア・ウォッシャー（線路側）」の試験を行いました



ホーム側から見た「ホームドア・ウォッシャー（線路側）」



前から見た「ホームドア・ウォッシャー（線路側）」



業務推進課
金井課員

5月15日、鶯谷駅において線路側を洗浄するホームドア・ウォッシャーの試験を実施しました。本機は、ホームドアの美観維持と洗浄作業の効率化を目的として開発されたもので、すでにホーム側を洗浄する機械が東京駅・上野駅・高輪ゲートウェイ駅で運用されています。今回の試験では、これまで未実施であった線路側機の実用性を実際の駅で検証しました。

試験は終電後から始発までの1時から4時の間に、鶯谷駅2番線の山手線ホームドアで実施したよ。

以下に各検証項目と検証理由、結果をまとめたよ！



検証項目	検証理由	結果
洗浄品質の確認	実際の汚れ除去効果を確認するため	目視により洗浄効果を確認（画像＊参照）
運搬・運用時の安全性	作業工程の安全性と時間の妥当性を確認するため	想定時間内で作業可能かつ安定した運用を確認
センサー部の洗浄回避機能	洗剤・水不可部分を洗浄しないための機能を確認するため	RFIDタグ＊に正常反応し、回避・停止が適切に作動することを確認
設備への影響	設備（ホームドア・誘導ブロック）への損傷有無を確認するため	傷・破損がないことを確認
距離センサー動作	距離センサーが構造物の有無を検知して停止動作等を行えるか確認するため	ドア開放時には停止する一方、ガラス面は認識し停止しないことを確認

＊RFIDタグ：無線で情報を読み取る技術を用いたタグで、機器が場所を認識し、洗浄の開始・停止や回避動作を自動で行うために使用しています。

以上のように今回の試験はよい結果を得ることができました。

今後は関係各社協力のもと、各駅での運用に向けてより効率的な運用体制の構築をめざします。



線路側から見た「ホームドア・ウォッシャー（線路側）」



画像＊：洗浄部分と洗浄回避部分の比較